

## 魚崎ポンプ場 大規模雨水処理施設整備事業計画（神戸市）

項目	内容・施策等
選定理由	<p>魚崎ポンプ場は、神戸市東灘区南部の合流区域に位置する浸水対策・合流改善を担うポンプ場である。本ポンプ場は昭和37年1月の供用開始から50年以上が経過しており、施設・設備の老朽化に加えて、旧基準で整備されているため、排水能力・耐震性能が不足している。適切な機能確保を図り浸水被害を防止し、災害時にも適切な雨水排水機能を確保するため、魚崎ポンプ場の改築更新を集中的に実施する必要がある。</p> <p>魚崎ポンプ場改築更新事業は、用地の制約からポンプ場を運転管理しながらの改築となり、土木・建築・機械・電気など様々な工種が長期にわたり相互に関連するため、設計・施工一括発注により民間活力の導入を図るとともに、新ポンプ場への改築を段階的なものとし、第1期と第2期に分けて事業をすすめるものである。</p>
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本計画における対象降雨 : 49.1mm/hr (10年確率降雨)</li> <li>・目標とする理由 : 神戸市公共下水道事業計画で定める計画降雨 49.1mm/hr とする。</li> <li>・ハード整備による整備水準の目標 : 49.1mm/hr (10年確率降雨)</li> </ul> <p>② 目標設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i )生命の保護の観点 : 低地盤地区である当該排水区の健全なポンプ排水機能を改築更新により確保・強化する事により、当該排水区に 18 箇所存在する高齢者・障害者等要配慮者関連施設を含め排水区全体の浸水安全度を高める。</li> <li>ii )都市機能の確保の観点 : 健全なポンプ排水機能を改築更新により確保・強化する事により、国道 43 号などの重要都市インフラの機能確保を図る。</li> <li>iii )個人財産の保護の観点 : ポンプ排水機能を改築更新により健全化および能力増強する事により、排水区全体の浸水安全度を高める。</li> </ul>

項目	内容・施策等			
内水ハザードマップ策定状況	<p>・ <b>有</b> (平成 24 年度策定済み)</p>			
主な事業内容	公助	ハード対策	下水道管理者	・雨水ポンプ場の改築 (排水能力 2,460m <sup>3</sup> /分)
			下水道管理者以外	—

年度計画（百万円）

名称	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	計
魚崎ポンプ場 (第1期)	1,487	1,677	1,206	616									4,986
魚崎ポンプ場 (第2期)				451	1,364	1,364	1,078	2,178	3,025	1,622	1,353	1,475	13,910
計	1,487	1,677	1,206	1,067	1,364	1,364	1,078	2,178	3,025	1,622	1,353	1,475	18,896

項目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	・設置から 50 年以上が経過している魚崎ポンプ場の改築更新に伴い、耐震性能を有したものとし、雨水排水能力を 2,142 m <sup>3</sup> /分から 2,460m <sup>3</sup> /分に増強し、雨水排水機能を適切に確保する。
放流先河川との調整状況	・放流先は海域であり、海上保安庁と協議を実施済
その他	—

# 魚崎ポンプ場 大規模雨水処理施設整備事業計画図

